

おじいちゃんのお米

大堀小学校 五年 大沼 希依

私（私）の家ではお米を作（つくる）ています。作（つく）てい  
 るのはおじいちゃん（おじいちゃん）で、おじいちゃん（おじいちゃん）が作（つく）  
 たお米はおいしくて世界一です。おじいちゃん（おじいちゃん）が作（つく）  
 ったお米がやるまでた（た）くさんの苦勞があ（あ）ったの（の）か考え（を）てみ  
 ました。（そ）  
 お米作りは、春に種まきをして夏には毎日  
 田んぼの様子を見に行き、水やなえの様子を  
 見に行（い）たり、草刈りをしてたり、消（く）ぐや（や）栄（えい）  
 養をあげたりします。秋には、今まで育てて  
 きた稲へお米（こめ）をか（か）つて、その後にかんそう  
 してふくろづめをします。そして精米をして  
 ようやく食（た）べること（を）ができます。  
 私はこのお米が（こ）で（き）るまでおじいちゃん（おじいちゃん）は  
 ちのすごい月日（つきひ）を毎日休（やす）まずにお米を作（つく）て  
 いること（こと）がすごいと思（おも）いました。  
 ところ（ところ）が近年はもう暑（あつ）のせいだとれるお  
 米が少なくな（く）な（り）てきています。それた

め、おじいちゃんか作ってくれたおいしいお
米も少なくなっていて残念です。それにおじいちゃん
は、
もう来年作んなねがわな。
と言った。お米作りをやめようかなと言った。
おじいちゃんか作ってくれるおいしいお米
が食べられなくなってしまうし、他のお米よ
りや、ぱりおじいちゃんか作ってくれたおい
しいお米がないない。
と思いましたが。
私がそう思った理由は、おじいちゃんか作
っているお米は雪若丸で、ふるさと納税にも
出していきます。このおいしいお米は全国のみ
んなも食べなくて売って、おじいちゃんかお
米を作るのをやめてしまったら、おじいちゃん
のお米を待つてくれているみんなが食べちゃ
れなくなってしまうと思いましたが。
私はおじいちゃんに、
お米を作るのをやめなさい、おじいちゃん

の作るお米が世界一だよ。だからお米を作る

のをやめないで。

と言いました。そしたらおじいちゃんは、

<sup>希望</sup>の<sub>衣</sub>のために、がんばるよ。待つてくれ

るみんなのためにも。

と言てくれました。おじいちゃんは、今年

もお米を作てくれます。私は今年もお

じいちゃんのおいしいお米が食べられること

が、とってもうれしかったです。

お<sup>私</sup>た<sup>私</sup>は<sup>私</sup>はおじいちゃんに、これから体を

大切にしてくてる。とおいしのお米を作て、

みんな笑顔をとどけてほしいです。そして、

これから私のおじいちゃんのお米は世界一

とみんなに満<sup>目標</sup>したいです。

おじいちゃんおいしいお米をありがとう。

一ノ瀬

B2

## 個人作品添付用 応募票

フリガナ	オジイちゃんノオコメ		
作品の題名	おじいちゃんのお米		
フリガナ	オオ ヌマ		ノ イ
氏名	大 沼		希 依
フリガナ	モガミキョウリツ オホリ ショウガッコウ		
学校名	最上町立大塚小	学校	5年 / 組
学校所在地	〒999-6212 最上郡最上町大字志茂127		
電話番号	0233-44-2001		
当該 JA	もがみ中央農業協同組合		